

ことぶき俳句会

着ぶくれてラーメン店に立寄りぬ  
 大山さよ子  
 ぶんわりと大きな膝掛け冬の夜  
 越坂 順子  
 曾孫きてばあちゃんどうも冬の夜  
 徳地はつ子  
 ミニ樽に幾種も漬け込み冬迎う  
 橋本 葉子  
 襟巻をくるくる巻いてペタル踏む  
 福澤 米子  
 太鼓打つ少年の双手暮れ早し  
 福原 仁子  
 漬物をやっとなわりて雪ぐもり  
 宮部あき子  
 青あおと芽麦の覚えて冬の土  
 高橋 悦子

浦幌短歌会

荷を解きて柿のひとつに触れし手の  
 福澤 米子  
 その冷たさよ神無月かな  
 又一人友が逝ったが病なく  
 米司 好美  
 人生舞台暮切はまだだ  
 静かなる長き秋なり瓜割れて  
 花を離れぬ蜂を追ふのみ  
 山口 恵子  
 髪が少し薄くなつたと海浴いの  
 友より届く我が生まれ月に  
 長谷川アキ  
 秋となり移しかえると掘られいる  
 しだれ桂が気がかりでならぬ  
 山崎 阿己  
 雨あとの初冬の道に風さそう  
 彩とりどりの落ち葉を敷きて  
 星 愛子  
 霜降らぬ十月半ば丈高く  
 それでも菊の下葉は枯れて  
 後藤 年子  
 目をとじて楽はさくべしトンコリの  
 響きはるかなポロシリ見せる  
 亀田みや子  
 藁がなくかわりのものはこめがやと  
 鎌で刈り取り庭に干しゆく  
 柴田 弘子

上浦幌句の会

課題吟「自由」  
 内視鏡待つ間テレビが宙をゆく  
 芳川 乙美  
 弟よ奇跡の風で勝て病  
 広瀬マサヨ  
 恵まれし味覚と共に友の声  
 朝日ヒロエ  
 身を庇いペタルの軽さ今日も行く  
 笹島カヨ子  
 さりげなく見送る友に後ろ髪  
 経堂 ハナ  
 残飯をすずめと鳥が奪い合い  
 河村みよ子  
 バスドライブ少し早いか紅葉狩り  
 山田 ナツ  
 女郎花命を惜しむ神無月  
 大西 功  
 秋野菜漬物めぐる母の味  
 山田エツ子  
 菓箱下げ小鳥より先に子猫昼寝  
 福田すま子

浦幌川柳会

課題吟「政治」  
 政治家の派閥の影で国乱れ  
 星 愛子  
 所信などバフォーマンスで煙に巻く  
 加藤 未貴  
 堪えますよ出口の見える政治なら  
 橋本 葉子  
 高齢化政治のからくり見え隠れ  
 阿部 麗紅  
 一票を入れて福祉をけずられる  
 山村 幹雄  
 引出しから改革苦心あふれ出る  
 白木二十重  
 華やかに初春舞う刺客の小泉座  
 竹村 鮮明

みんなの文芸

編集後記

多くの保護者の皆さんにご協力をいただき、2005年に1歳の誕生日を迎えられたお子さんの明るい表情で埋めつくした表紙をつくることができました。ご協力ありがとうございました。

昨年は「難しいことでも楽しく読めて、皆さんから愛される広報誌を発行したい」と、この編集後記欄で目標を立てました。皆さんいかがだったでしょうか。まだまだ実力不足は否めませんが、今年も引き続き「愛される広報を目指したい」と思っています。地域の話などお気軽にお寄せください。すぐにお邪魔させていただきます。皆さんにとって、この町にとって幸多い年であることを心から願っています。

(やす)

掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)お気軽にご連絡下さい。